



■ 病床数	852床
■ 常勤医師数	294名
■ 指導医数	119名
■ 臨床研修医数	43名
※2021年11月現在	
■ 外来患者数	1392.8人
■ 入院患者数	652.9人
■ 救急外来患者数	39.0人
■ 救急車搬送件数	20.1件
2020年4月～2021年3月までの1日平均患者数	

臨床研修理念・基本方針

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。名古屋市西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。

臨床研修の目標

臨床に携わる全ての医師が、初期診療において必要な診断、治療上の基本的知識、技能を習得するとともに、望ましい医師としての態度を身につけることを目的とする。

臨床研修一般目標

- 各領域にわたる基本的な診療(プライマリケア)能力を身につける。
- 頻度の高い疾病や外傷の診断と治療ができる。
- 救急の初期診療を習得する。
- 患者およびその家族との信頼関係を確立できる。
- チーム医療の必要性を理解し、実践できる。
- 在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療を実践できる。



小児科プログラム

- 小児科疾患の各専門分野の診断および治療を知る。
- 患児のみならずその保護者との信頼関係も築く。

産婦人科プログラム

- 産婦人科の各専門分野の診断および治療を知る。

— 病院見学のご案内 —

80有余年の歴史を持つ日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院の特徴は、「専門科の垣根を越えた医療を実践するシステム」と「職種を越えたチームワークの良さ」です。是非、その活気あふれる医療現場を体感しに来てください。

【見学可能診療科】

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| ・腎臓内科 | ・血管外科 | ・産婦人科 |
| ・内分泌内科 | ・心血管外科 | ・眼科 |
| ・血液内科 | ・呼吸器外科 | ・耳鼻咽喉科 |
| ・脳神経内科 | ・小児外科 | ・歯科口腔外科 |
| ・循環器内科 | ・整形外科 | ・病理部 |
| ・呼吸器内科 | ・皮膚科 | ・救急部 |
| ・消化器内科 | ・脳神経外科 | ・麻酔科 |
| ・小児科 | ・形成外科 | ・放射線科 |
| ・一般・消化器外科 | ・泌尿器科 | |
| ・乳腺・内分泌外科 | ・女性泌尿器科 | |

【注意事項】

- ①見学申込は必ず希望日の3週間前までをお願いします。
- ②1日につき1診療科の見学プランを準備しています。
- ③夜間は原則として見学できませんが、相談に応じます。
- ④当院には見学者用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
- ⑤病院見学の評価の一部を初期臨床研修医の選考に活用しています。当院での臨床研修を希望する方は、必ず見学にお越しください。

見学はホームページの申込フォームからお申し込みください。



日本赤十字社

お問い合わせ先(教育研修管理課)
**日本赤十字社愛知医療センター
 名古屋第一病院**
 Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital
<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>
 TEL:052-481-5111(代表)(内線54145)
 kenshu-kanri@nagoya-1st.jrc.or.jp



https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/recruit/schedule_tour/entry_tour/

なかむらにっせき 病院見学 検索



@名古屋第一病院 研修管理委員会



@264fxjzx



@nagoya1_jrc

Doctors Drive

「救う」を担う



J.R.C A.M.C
 Nagoya Daiichi Hospital

2023年度 | 臨床研修医募集



日本赤十字社

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

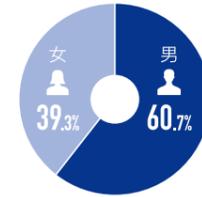
Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital

叶えたい未来へと、自分を成長させていく

Interview | 研修医インタビュー

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院では、
研修医一人ひとりが望む将来像を叶えるために4つのプログラムを用意しています。

■ 研修医の男女比



2017年～2021年までの初期研修医合計の男女比
当院では研修医の男女比に大差なく、男女ともに多くの先輩や同期と
出会える環境です。

■ 研修医の出身大学 2012年～2021年まで



01



🏥 一般プログラム

当院での研修は、間違いのない選択だと実感。

2020年 名古屋市立大学卒 坂本 旭美

私は将来の専攻として内科を考えていたため、当院での研修を希望しました。当院は膠原病内科を除いた全ての内科が揃っています。内科に限らずどの科も専門医が複数人在籍し、市中病院ならではのcommon diseaseから大学病院に劣らない高度な専門医療を必要とする疾患まで幅広く診療しています。また、病棟では上級医と相談しながら主体的に診療に取り組みます。救急医療に偏りがちな研修プログラムが多い中、日々のローテートを重視する当院の雰囲気が自分の希望に合うと考えて選択しましたが、2年目となった今もその選択は間違っていなかったと感じます。同期の人数が多いため受ける刺激も多く、研修医の女性比率が高いのも特徴です。選択枠が程よく大きく自由度も高いプログラムなので、志望科が決まっていなくてもロールモデルが見つかると思います。

03



👩 産婦人科プログラム

産婦人科医として問題を抱える女性を助けたい。

2020年 金沢医科大学卒 長岡 明日香

研修先に当院を選んだ理由は、指導医の数、症例数ともに充実し、母体搬送や緊急手術などさまざまな症例が学べると思ったからです。当院では女性泌尿器科や乳腺内分泌外科など産婦人科に関連する科が独立しており、ローテートでしっかりと学べます。また3年目からの専門研修を見据え、2年目の後半から産婦人科にFixできることも魅力です。上級医の先生方は皆優しく指導してくださり、3年目以降も残る方が多いので相談しやすい環境にあります。指導体制が整っているおかげで、研修中も大変だと思うことはあまりありません。
丁寧かつ元気よく、笑顔で人とのコミュニケーションを大切に。一人前の産婦人科医になるべく、専門研修を終えることはもちろんですが、常に患者さんの気持ちに寄り添える医師を目指し頑張っていきたいです。

👶 小児科プログラム

初期研修から充実した小児科研修と幅広い経験を。

2021年 藤田医科大学卒 竹田 早織

小児科医を目指す私にとって当院は小児科研修が充実し、症例数が多く幅広い初期研修ができる最適な環境です。具体的には2年次に一般小児科、血液腫瘍科、新生児科を4週間ずつローテートするため、初期研修から充実した小児科研修ができます。また一般プログラムと同様にローテートを自分自身で決められます。幅広い疾患が経験できるとともに各診療科の救急対応についても学べ、まだローテートしていない診療科の知識も補えるため大変有益に感じます。どの診療科の先生方もアットホームな雰囲気、忙しい合間をぬって丁寧に指導やレクチャーをしてくださり、とても勉強になる日々です。患者さんや医療従事者との様々な出会いは私にとって大きな喜びであり、これからも笑顔をやさすに医療者としてだけでなく、人間力を磨いていきたいと思います。

02



🦷 歯科プログラム

口腔外科・医科双方の指導体制が整う環境です。

2021年 九州歯科大学卒 花木 俊介

卒後研修は地元に戻りたいという思いとともに、歯科研修プログラムに医科のローテートが組み込まれていることに惹かれ、当院を選びました。当院には口腔外科専門医が多数在籍しています。歯科口腔外科を志望する私にとって、しっかりと指導体制が整っていることは大きな魅力です。また、口腔外科以外の診療科の研修体制も整い、隣接医学を現場で学ぶ機会に恵まれています。医科ローテートの時も医科・歯科研修医に関係なく丁寧に指導してくださり、毎朝、毎週開催のレクチャーでは歯学部時代には学ぶ機会がなかった医科についての知識を臨床の先生から学ぶこともできます。口腔外科について学び、働く上で、専門領域外の知識を必要とする場面は必ずあります。多疾患を有する患者の治療のために、専門領域外の知識も身につけることが今の自分の目標です。

04



facility

充実の環境で、
満ち足りた
研修生活を。



職員食堂



コンビニエンスストア



コーヒーショップ



演習室



図書室



職員寮



クラブ活動

豊富な学びの機会、自分を高める2年間

当院では座学・実技の面において「学びたい」意欲に応える、様々な勉強会を用意しています。
すでに志望科が決まっている方はもちろん、進む道を見極めたい方にも有意義な2年間が過ごせます。

平日 毎朝 開催 **モーニングカンファレンス** 8:30 → 8:50



救急外来で経験する症例について、各診療科の医師が講義を行っています。

週間予定表(2021年度実績)

	月	火	水	木	金
第1週目	救急部	泌尿器科 (12月まで) 1月以降は※	放射線科	一般・ 消化器内科	呼吸器 内科
第2週目	救急部	神経内科	小児科	一般・ 消化器外科	消化器 内科
第3週目	救急部	整形外科	循環器内科	一般・ 消化器外科	脳神経 外科
第4週目	救急部	産婦人科	小児科	一般・ 消化器外科	脳神経 内科
第5週目	救急部	※	※	※	※

※腎臓内科…年約2~3回を予定 内分泌内科…年約2~3回を予定
血液内科…年約2~3回を予定
薬剤部(季節性の薬剤鑑別会)…年3回(6月、11月、3月頃)を予定

毎週 金曜日 開催 **コアレクチャー** 17:00



当院の職員や外部から講師を招聘し、1時間程度の勉強会を行っています。座学のみならずエコーや縫合等の実技も学ぶことが可能です。

毎月 第4金曜日 開催 **CPC** 17:30

剖検症例について研修医自ら剖検所見を発表し、症例の主治医や病理医から指導を受けます。

年1回 開催 **技術研修**



2021年度に
行ったもの

- CVカテーテル挿入
- 胸腔ドレナージ
- 皮膚縫合
- ワークショップ
- 骨髄内輸液
- シナリオシミュレーション



医療安全研修会 <年6回程度>



感染対策
研修会
<年5回程度>



大規模
災害訓練
<年1回>

その他

NST勉強会、RST勉強会、総合医局学術講演会など

令和2年度の年間スケジュール

4月

- 1日 新入職員オリエンテーション
- 2~8日 研修医オリエンテーション
- 14日 2020年度臨床研究研究会
臨床研究審査委員会 委員、事務局
- 17日 研修医オリエンティング
- 18・19日 ICLS
- 24日 CPC「慢性活動性EBV感染症」
内科・病理部



研修医オリエンテーション



研修医オリエンテーション



ICLS

5月

- 8日 コアレクチャー「心電図でわかること」
循環器内科 宮田 紳治郎
- 15日 コアレクチャー「EPOC2の説明」
CPC(CPA)
内科・病理部
- 22日 CPC(CPA)
- 30日 コアレクチャー「抗菌薬適正使用/感染対策」
ICT

6月

- 5日 コアレクチャー「眼科について」
眼科 佐藤 英洋子
- 8日 第1回NST勉強会「経管栄養中の
消化器症状への対応」
栄養サポートチーム
- 12日 コアレクチャー「腹部エコー①」
消化器内科 荒見 肇
- 19日 コアレクチャー「耳鼻咽喉科について」
耳鼻咽喉科 松井 宇宙輝
- 26日 CPC「卵巣癌 突然死」
産婦人科・病理部
- 29~7/31日 令和2年度第1回医療安全研修会
リハビリテーション科部 中山 晴唯 薬剤部 松田 唯子

7月

- 3日 コアレクチャー「腹部エコー②」
消化器内科 藤高 俊尚
- 10・31日 コアレクチャー「心エコー実習」
循環器内科 藤高 俊尚

8月

- 7日 コアレクチャー「皮膚科について」
皮膚科 澤田 昌樹
- 14日 コアレクチャー「災害医療①」
救急部 花木 芳洋
- 21日 コアレクチャー「災害医療②」
救急部 花木 芳洋
- 28日 CPC「くも膜下出血」
脳神経外科・病理部

9月

- 4日 コアレクチャー「死亡診断書の記載の仕方」
救急部 花木 芳洋
- 11日 コアレクチャー「コロナ時代の外来診療」
福島県立医科大学 会津医療センター教授 山中 克郎 先生
- 18日 コアレクチャー「CVについて」
血液内科 江口 基紀
- 23~25日 認知症オンデマンド研修
- 28・29日 CPC「AML 敗血症性ショック」
血液内科・病理部
- 25日 CPC「AML 敗血症性ショック」
血液内科・病理部
- 30日 研修医技術研修

10月

- 1日 研修医技術研修
- 1~3/31日 放射線研修「医療放射線に係る安全管理」
「医療ガスに係る安全管理のための
職員研修」
- 2日 コアレクチャー「産業界について」
産業界(呼吸器外科) 川角 佑太
- 9日 コアレクチャー「内分泌内科について」
内分泌内科 清田 篤志
- 16日 コアレクチャー「当院の化学療法薬の運用に
ついて」
薬剤部 藤原 秀之
- 23日 コアレクチャー「化学療法 最近の話題、
ゲノム医療について」
化学療法内科 中野 祐佳
- 29日 第1回認知症の基礎講座「認知症の
原因疾患と病態治療」
認知症ケアチーム
- 30日 コアレクチャー「インフルエンザ感染対策」
ICT



研修医技術研修

11月

- 6日 コアレクチャー「ACPについて」
緩和ケア科 河合 奈津子
- 12日 第2回認知症の基礎講座「認知症ケアの
ポイント」
認知症ケアチーム
- 13日 コアレクチャー「漢方薬の現場と注意点」
漢方チーム



研修医技術研修

12月

- 16~12/18日 令和2年度第2回医療安全研修会
リハビリテーション科部 中山 晴唯
医療安全管理課 豊島 幹一郎
- 20日 令和2年度第2回感染対策研修会
呼吸器内科 横山 俊彦
- 25日 コアレクチャー「医療安全研修会(演習)」
医療安全推進室 水野 公雄
- 27日 排尿ケア研修会
女性泌尿器科 加藤 久美子/理学療法士 奥田 哲也/
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 井内 貴子
- 4日 総合医局学術講演会「造血幹細胞と造血、
骨を維持する骨髄微小環境(ニッチ)の解明」
大阪大学大学院医学系研究科・医学部
幹細胞生物学 教授 長澤 正司 先生
- 11日 コアレクチャー「腎疾患について」
腎臓内科 通藤 信実
- 18日 コアレクチャー「症例提示「脱水症の鑑別」+
OS-1の使用」
消化器内科 藤高 俊尚
- 25日 コアレクチャー「歯科口腔外科領域疾患
および口腔ケアについて講義(実習)」
歯科口腔外科 大野 伊知郎

12月

- 4日 CPC「虫垂粘液腫」
消化器内科・病理部
- 11日 コアレクチャー「腎疾患について」
腎臓内科 通藤 信実
- 18日 コアレクチャー「歯科口腔外科領域疾患
および口腔ケアについて講義(実習)」
歯科口腔外科 大野 伊知郎
- 25日 CPC「インフルエンザ肺炎」
血液内科・病理部

1月

- 8日 コアレクチャー「外傷医じゃなくても出来る
外傷診療」
藤田医科大学病院 救急総合内科 教授 渡邊 剛人 先生
- 15日 コアレクチャー「症例提示「補助栄養剤を
用いた栄養管理」+イノラス、ラコールの
情報提供」
大塚製薬工場
- 22日 CPC「敗血症、DIC」
産婦人科・病理部
- 29日 コアレクチャー「医療安全研修会(演習)」
医療安全推進室 水野 公雄



口腔ケアについて講義(実習)

2月

- 4日 名古屋西部・海部東部地域包括ケア
推進協議会(尾陽包括ケアの会)
第7回総会・講演会
医療法人深井会 深井会病院 理事長 今村 康宏 先生
- 5日 コアレクチャー「解毒の対応」
消化器内科 藤高 俊尚
- 12日 コアレクチャー「健康診断とがん診断」
健診部 渡邊 保子
- 19日 コアレクチャー「抗菌薬の使い方」
小児科 吉田 奈央
- 26日 CPC「肺扁平上皮癌 心筋内メタスタシ」
呼吸器外科・病理部

3月

- 5日 コアレクチャー「鑑別診断を考えない診断」
名古屋大学医学部付属病院 総合診療科 松久 貴晴 先生
- 8日 がんゲノム医療講演会(ZOOM配信)
薬剤部 藤原 秀之 岡山大学大学院 教授 平沢 眞 先生
- 12日 コアレクチャー「病歴聴取、神経学的所見」
脳神経内科 後藤 洋二
- 15日 総合医局学術講演会「胎児治療の過去・現在・
未来~小さな命に向き合う君たちに
伝えたいこと~」
松波総合病院 産婦人科産科産科対策室長 川藤 市郎 先生
- 18~4/30日 安全衛生教育講演会
19日 コアレクチャー「皮膚縫合実習」
形成外科 林 祐司
- 26日 CPC「びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫」
血液内科・病理部

4月

- 5日 コアレクチャー「鑑別診断を考えない診断」
名古屋大学医学部付属病院 総合診療科 松久 貴晴 先生
- 8日 がんゲノム医療講演会(ZOOM配信)
薬剤部 藤原 秀之 岡山大学大学院 教授 平沢 眞 先生
- 12日 コアレクチャー「病歴聴取、神経学的所見」
脳神経内科 後藤 洋二
- 15日 総合医局学術講演会「胎児治療の過去・現在・
未来~小さな命に向き合う君たちに
伝えたいこと~」
松波総合病院 産婦人科産科産科対策室長 川藤 市郎 先生
- 18~4/30日 安全衛生教育講演会
19日 コアレクチャー「皮膚縫合実習」
形成外科 林 祐司
- 26日 CPC「びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫」
血液内科・病理部

CROSS TALK

研修医クロストーク

リアルな日常、届けたい想い。

研修医が本音で語りあおう

良い刺激にもなっています。

同期が多く、相談しやすくて

自分も頑張らなきゃって。

前向きに取り組む仲間を見て

自分にちょうどいい環境です。

充実のローテーションや豊富な症例…

めました。実際、様々な症例を経験できますし、先生方もすごく指導熱心。なので3年目以降も当院での研修を見越して、毎日取り組んでいます。当院は3年目以降も残っていらっしゃる先生が結構多いですね。

相川 年度によっては継続率100%の年もすごいですよね。

優しくて指導熱心な先生方が、私たちの熱意に答えてくださいます。

— 研修して感じること、当院の魅力は？

林 先生方が優しく、質問しやすいですね。研修医1年目で右も左もわからない状態の時に質問しやすいというのは、すごく大事なポイントだと思います。それにこちらが予習してのぞむと、オペなどでも指導のもと、手技をやらせていただけます。こちらの熱意に答えてくださる先生が多いですね。

相川 確かに手厚くフォローしてもらっていますよね。あと、当直回数が月4回と多すぎないため、ローテーションでオペもカテーテルも好きだけ入れれます。手技もたくさん経験でき、病棟での処方も勉強できる。それにローテーションに専念できるからか、各科の上級医や若手の先生もすぐ私たちの顔を覚えてくださいます。救急のことも相談しやすいし、なんならご飯をご馳走してくれることも(笑)。とてもうれ

しいですよ。

地方の大学出身者も多く、支え合い一緒に成長できる仲間がたくさん。

野村 当院は同期の人数が多いので、悩んだ症例や失敗談なども皆で共有できます。それから、1年目と2年目の研修医がベアになって救急患者と一緒にみることも多いです。

相川 三次救急病院なので様々な疾患への初期対応が学べます。救急患者にどういう手順を組み、指示を出せばいいかなど今のうちに先輩の近くで学んでおこうと思っています。来年はブレーンとなり現場で1年目の研修医を指導する側にならないといけないので。

林 同期のメンバーは真面目で意欲的な人が多いから、自分も頑張らなきゃって思う。当院にはそういう雰囲気があると思います。

野村 2年目の研修医も皆、勉強熱心で優秀。良い刺激になるし、本当に仲間と切磋琢磨して日々取り組んでいる感じです。

相川 職場では真面目に、はっちゃける時ははっちゃける。自分自身は広島から1人でやってきたので、しゃべりやすく打ち解けやすい仲間の存在はありがたかったですね。

— 地元以外の大学出身の方も多いですか？

相川 はい。まさに私を筆頭に(笑)。もちろん地元出身という方も多くですけど、結構いろいろな所から来ている印象はありますね。ここは名古屋駅が近くて交通の便がいいし、買い物にも便利だなと思いますね。

— 将来に向けて頑張りたいことや目標は？

林 私はやっぱり、各科をローテーションして、様々な状況で臨機応変に対応できるようにしたい。これからは各科に相談する場面があると思うので、いろいろなことを勉強できたらいいなと思っています。

野村 内科は3年目でもう一度ローテーションがあります。そこで今度は主治医をもたせてもらうなど、自分自身が主体となって患者さんに関わる場面がきっと増えてくると思います。そのためにも、今のうちに少しでもいろいろなことを経験できたら、と。私は消化器内科に進むので、内視鏡検査の腕を磨きたいとも思っています。

ずばり、研修先に「当院を選んだあなた! 正解です!」(笑)

— 最後に、医学生へメッセージを。

野村 自分に合った病院は、いろいろと見学するうちにわかってきます。見学時は研修人数や当直回数、給与など、自分なりのチェック

リストを作成しておく、後から比較できて便利なのでオススメです。実際、病院をたくさん見学すると、どこで何を聞いたのかわからなくなってしまった経験があったので。

— 同 確かに!

相川 私からのメッセージはズバリ「ここを選んだあなた! 正解です!」ですね(笑)。本当に当院は自分にとって「ちょうどいい病院」だと思っています。程よい当直回数もそうだし、その分ローテーションを満喫できることもそうだし。三次救急でいろいろな症例を経験でき、手技も意欲があればどんどん上達できる。いろんなことがバランス的にちょうどいいなと思っています。

林 自分に合った病院を選ぶというのが一番大事だと思うので、ぜひ病院の見学に来て、雰囲気味わってみてください。

CROSS TALK MEMBER



2021年
広島大学卒
相川 拓哉



2021年
浜松医科大学卒
林 紗由



2020年
信州大学卒
野村 真希



数字で見る、知る。 日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第一病院

診療科が多彩に揃う当院では、在籍する専門医・指導医数も多く、それに伴い2年間で経験できる症例数も豊富。また初期研修終了後、当院で専門研修を継続する割合が高いことも特徴です。

診療科別 常勤医・専門医・指導医の人数

令和3年10月現在

診療科
34

在籍する
常勤医師数
255名



在籍する
専門医師数
129名



在籍する
指導医数
120名



専門研修プログラム(基本領域) 名古屋第一赤十字病院

初期研修(2年間) ▶ 専門研修(3年間) ●基幹プログラム ●連携プログラム いずれか

●基幹プログラム		●連携プログラム	
診療科	専攻医	診療科	専攻医
内科	32人	皮膚科	2人
小児科	10人	精神科	0人
外科	8人	整形外科	3人
産婦人科	9人	眼科	0人
病理部	2人	耳鼻咽喉科	2人
救急科	0人		
		泌尿器科	3人
		脳神経外科	3人
		放射線科	1人
		麻酔科	4人
		形成外科	1人

(令和3年度現在)

初期臨床研修を修了した研修医の多くは、引き続き当院での専門研修に進みます。当院が基幹プログラムを有する6領域以外では主に名古屋大学医学部附属病院プログラムの連携施設となっており、専門医取得・更新に必要な講習を院内で開催するなど、病院全体で専門研修をサポートしています。また、専門医資格取得からSubspecialty領域の専門研修へと連続的な研修が可能となるように配慮しています。

●初期研修修了後も当院で専門研修を継続する割合(平均)



(令和3年度現在)



救急について



勤務体制

R1 2名 R2 2名 R3 1名

年次の近い屋根瓦式教育体制であり、非常に相談しやすい環境です。



1年目の研修医が経験する症例数(1年あたり平均)

525件



救急受入患者数

令和元年

時間内 2,490件 時間外 12,584件

令和2年

時間内 1,446件 時間外 5,461件

令和元年

時間内 2,055件 時間外 6,089件

令和2年

時間内 2,078件 時間外 5,247件

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、救急外来の患者数が減少しています。



2年間で研修医が経験できる三次救急症例数(一人あたり:過去3年分平均)



2年目の研修医が経験する症例数(1年あたり平均)

373件



休日・夜間勤務回数

4回(平均/月)

Interview

専攻医インタビュー

当院は名古屋西部に位置する病院で様々な診療科・施設を持っている三次救急病院です。私が当院での臨床研修を選択した最も大きな理由が、「自分の病院で完結することができる」という点です。初期研修では『様々な疾患に触れ、診療する機会が多いこと』を重要と考えている方は多いと思います。先に述べたように当院では多くの診療科や施設が揃っているため「自院では診療できないので転院する」といったケースが少なく、通常大学病院でしか扱わないような希少疾患や高次施設での治療が必要とされる緊急疾患の診療も行います。そしてもちろん、common diseaseと呼ばれるような疾患の診療も経験できます。これに関連して、多くの診療科で指導医が確保されており、初期研修だけでなく専門研

修も継続して行うことができるのも当院での初期研修を選択することでの大きなメリットと言えるでしょう。また、名古屋駅から中村日赤駅まで地下鉄を利用して乗り換えなしで10分弱、しかも駅に直結し通勤のアクセスも良いため、病院近くでの寮暮らしと名古屋市中心部での一人暮らしのどちらも選択しやすく、遠方からの研修医も多く在籍しています。私の同期も北は北海道から南は九州までと出身大学は様々。非常に個性や経験豊かな仲間たちと研修生活を送ることができたのも、当院での研修を皆さんにおすすりできる点の一つと考えています。



加藤 暉康
2019年 名古屋大学卒

当院で初期研修修了後、脳神経内科に所属しながら内科専攻医の専門研修中。

- 1 起床 6:00
- 1 出勤 7:30
カルテチェック・回診
- 1 モーニングカンファレンス 8:30 (1年次)

- 1 朝回診 9:00

- 1 お昼休憩 (ランチタイム) 12:00

- 1 部長回診 13:00

- 1 夕回診 16:30
朝と比較して状態の変化がないかチェックします。
- 1 カンファレンス 17:00
- 1 帰宅 20:00

熱意ある指導のもとで経験を積み、仲間と切磋琢磨しながら成長できます。

血液内科
での1日



2021年 名古屋大学卒
宇野 友梨

指導風景



質問や相談などに丁寧に答えてくださる先生が多く、いずれの診療科の先生方も熱心に指導していただけます。

1年次ローテート	
4月	オリエンテーション・小児科
5月	脳神経内科
6月	循環器内科
7月	呼吸器内科
8月	検査部・一般消化器外科
9月	一般消化器外科
10月	産婦人科
11月	血液内科
12月	女性泌尿器科
1月	脳神経外科・整形外科
2月	麻酔科
3月	救急部



地下鉄の駅に直結し、名古屋駅まで乗り換えなしで利用できるためアクセス抜群。食事や買い物などにも便利なロケーションです。

ONE DAY

数々の手技を経験し、フィードバックがもらえる時にやりがいを感じます。

一般消化器外科
での1日



2020年 名古屋大学卒
百田 浩太郎

指導風景



先生は優しく指導熱心な方ばかり。回診や治療方針・検査などの話し合い、手術中も含めて質問しやすい雰囲気です。

- 1 起床 6:30
- 1 担当患者回診 7:15
- 1 抄読会 8:00

- 1 手術 9:00

- 1 お昼休憩 (ランチタイム) 12:00
手術に参加している場合は、1件目が終了した後に昼食をとります。
- 1 病棟回診 13:00

- 1 カンファレンス 18:00

- 1 帰宅 20:00

毎週火曜日に抄読会があり、ローテート中に1回以上の発表が義務づけられています。指導医によって和訳やfigureの解釈など、手厚く添削していただいた上での発表となります。

第二助手として手術に参加します。予定手術の場合は、教科書で術式を予習してのぞむと学びが多いです。2年次では、希望すると術者として手術を行うこともあります。

1人の研修医に1人の上級医が指導するオープン制のもと、上級医担当の患者さんと一緒に回診します。問診や診察の仕方、検査や治療の考え方について直接学ぶことができます。

火曜日は手術検討症例について若手が発表します。上級医と話し合い、参加者全員で情報を共有します。また、木曜日は消化器内科と合同で手術検討症例について議論し、その後、入院患者さんについてのカンファレンスで研修医も担当症例について発表します。